

競技要項

1. 競技方法・競技時間

Division I -Group A・Group B

全チーム2回戦総当りのホーム & アウェー方式によるリーグ戦
ホームチームの設定は、ランキング上位チームが2戦目をホームチームと設定する。
正規20分×3ピリオド 練習10分 休憩12分

Division II

全チーム1回戦総当りによる予選リーグ戦
予選リーグ上位3・下位3チームに分かれ順位決定リーグ戦を行う。
予選リーグ戦でのホームチームはランキング上位チームとする。
順位決定リーグ戦でのホームチームは、予選リーグ上位チームとする。
正味15分×3ピリオド 練習10分 休憩1.2ピリオド間5分、2.3ピリオド間12分

Division . III . IV . V

全チーム1回戦総当りのリーグ戦
ホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームと設定する。
正規15分×3ピリオド 練習10分 休憩1.2ピリオド間5分、2.3ピリオド間12分

※ 全てのDivisionにおいて、10点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムについては、ランニングタイムとする。なお各ピリオド残り2分以降は正規の取扱いとする。

※ 順位決定

全てのDivisionにおいて、勝ち点制度とする。

勝ち点は、勝ち3点、引き分け1点、負け0点 とする。

(Division II、予選リーグでの勝ち点を、順位決定リーグへ加算して最終順位を決定する)

なお勝ち点が同数の場合、次の規定により上位を決定する。

①勝ち点の多い順 ②当該校の対戦成績 ③当該校同士の試合で得失点差の大なるもの

④当該校同士の総得点÷総失点の商の大なるもの ⑤全試合の得失点差の大なるもの ⑥全試合の総得点÷総失点の商の大なるもの

⑦全試合のペナルティタイム(分)の小なるもの ⑧平成23年度関東大学リーグ戦順位の上位校

☆ Division I 順位決定ラウンド

Group Final Round (グループ ファイナル ラウンド)

7位 (DIV I -A 7位) VS 10位 (DIV I -B 2位)

8位 (DIV I -A 8位) VS 9位 (DIV I -B 1位)

ホームチームの設定は、ランキング上位チームとする。

正規20分×3ピリオド 練習10分 休憩12分

上記の試合で同点の場合は、5分間の延長ピリオドを行い勝敗を決する。

なお同点の場合はIIHFの競技規則に基づくゲームウイニングショットにより勝敗を決する

☆ Division I -B・IIの入れ替えについて

13位 (DIV I -B 5位) VS 16位 (DIV II 2位)

14位 (DIV I -B 6位) VS 15位 (DIV II 1位)

ホームチームの設定は、ランキング上位チームとする。

正規20分×3ピリオド 練習10分 休憩12分

上記の試合で同点の場合は、IIHFの競技規則に基づくゲームウイニングショットにより勝敗を決する、

☆ Division 間の入れ替えについて

Play-Off Division Series

19位 (DIV II 5位) VS 22位 (DIV III 2位)

27位 (DIV III 7位) VS 30位 (DIV IV 2位)

35位 (DIV. IV 7位) VS 38位 (DIV V 2位)

ホームチームの設定は、ランキング上位チームとする。

正規15分×3ピリオド 練習10分 休憩1.2ピリオド間5分、2.3ピリオド間12分

上記の試合で同点の場合は、IIHFの競技規則に基づくゲームウイニングショットにより勝敗を決する、

自動昇格・降格

20位 (DIV. II 6位) 自動降格 ⇔ 21位 (DIV III 1位) 自動昇格

28位 (DIV. III 8位) 自動降格 ⇔ 29位 (DIV IV 1位) 自動昇格

36位 (DIV. IV 8位) 自動降格 ⇔ 37位 (DIV V 1位) 自動昇格

2. 競技規則

東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として国際競技規則および公益財団法人日本アイスホッケー連盟の定めるローカルルールによるものとする。
特に、以下の規則に関しては、徹底するようにするものとする。

- 1) プレーヤーはバイザーまたはフルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用しなければならない。
あごひもとあごの間のゆとりは指1本分のみとする。バイザーは鼻が全て覆われるものでなければならない。
フルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用する場合は、付帯パーツを正しい位置に装着しなければならない。
- 2) グローブ・ヘルメット以外の用具は完全にユニフォームの下に着用し、ユニフォームはパンツから出して着用するものとする。

3. 補助規則（ローカルルール）

- 1) 連盟未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、不戦敗（スコアは0対15）とする。
- 2) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。
- 3) プレーヤーはマウスガードを着用しなければならない。マウスガードの色は本体全部が白・ベージュ・クリア（透明）などでなく、着用していることを安易に確認できる色のものを使用すること。
- 4) 選手の怪我防止の観点から、プレイヤーの用具やユニフォームが正しく着用されているかを確認するため、以下の手順を定める。
 - ① 試合前の整列時に、レフェリーが両チームのプレイヤーの用具やユニフォームの着用状態を確認する。
 - ② プレイヤーは、全ての用具・ユニフォームを正しく着用した状態で、ブルーライン上に待機する。
 - ③ 正しく着用されていないプレイヤーには、直ちに改善することを指示するものとする。
 - ④ 試合が開始された後、用具やユニフォームを正しく着用されていないプレイヤーをレフェリーが発見した場合は、改善するように注意する。それでも改善されない場合はベンチに警告を与えるものとする。その後、同じ試合中に違反したプレイヤーを発見した場合は、そのプレイヤーに対しミスコンダクト・ペナルティを科す。なお、これはレフェリーの判断によりペナルティを科すものであり、チームからのアピールプレーは一切受け付けないものとする。
- 5) 練習中については、スーパーバイザーがヘルメットやストッキング等の防具を正しく着用するよう監督し、是正させる。
- 6) 試合の際に役員（監督・コーチ等）のうち1名は必ずベンチ入りすること。不在の場合は試合放棄とみなし、不戦敗（スコアは0対15）とする。
役員とは大会要項8項のチーム役員登録された者を指す。
- 7) ベンチには、GK2名・プレイヤー20名の計22名、役員6名までが入れる。なお、外国籍を有する選手は3名以内とする。
- 8) タイムアウトは各Divisionの全試合、各チーム1回使用できるものとする。
- 9) オールメンバー表にはGK1名を必ず記載すること。また、オールメンバー表は試合開始45分前までに必ず提出すること。
- 10) 試合当日（試合開始時）試合を遂行するのに必要な最低人数（GK1名以上を含む選手8名）に満たないメンバーしか集まらないチームは、その試合を棄権したものとみなし、不戦敗（スコアは0対15）とする。
- 11) Div Iのチームは各チーム最低2名以上（2年生以上）、Div II・IIIのチームは最低1名以上（3年生以上、但しアイスホッケー経験者ならこの限りにあらず）のレフェリー登録を義務づける。試合は必ず登録された者が担当する。
- 12) ホーム・ビジター制度は全てのDivisionの全試合において適用する。ホームチームはプログラムに記載されている対戦カードの左側とし、ベンチは本部席に向かって右に入ること。
- 13) スティックおよび用具の計測は、1試合につき各チームそれぞれ1回ずつ行えるものとする。
- 14) ピリオド終了時、両チームが同一通路を使用してリンクより控え室に戻る場合、原則としてホームチームから先に速やかに退場する。但し、リンクの構造上無理が生じる場合には、様々なケースを認める。その際、両チームが同時にならないよう、必ず一方のチームから退場すること。なお、後のチーム（氷上にいるプレイヤー・GK含む）は、一度自チームベンチに戻り、レフェリーの指示により退場することとする。先のチームが故意に退場を遅らせたり、後のチームが故意に自チームのベンチに戻らなかった場合は、レフェリーの判断により違反したチームに対しベンチ・マイナーペナルティを科すものとする。
- 15) ベンチドアマンの取扱い
 - ① 試合に出場しない選手登録をされている学生を2名以内、ベンチドアマンとして置くことができる。この場合、オールメンバー表のスタッフ欄に記載すること。（ただし、役員6名には含まれない。）
 - ② ベンチドアマンは、危険防止のため必ずフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付けるものとする。
試合前の整列時に、レフェリーがベンチドアマンの用具着用状態を確認し、正しい装備をしていない場合はその試合のベンチ入りを認めない。この場合、ペナルティ（ベンチマイナー）は科せられない。

16) 試合中、ベンチ内での写真撮影は禁止とする。

17) ベンチ入りする学生チームスタッフ（マネージャー・トレーナー）は危険防止のため必ずフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付けるものとする。レフェリーは、規定に違反している学生を発見した場合、チームスタッフに対し該当者をベンチから退出させるように注意する。この場合、ペナルティ（ベンチマイナー）は科せられない。

罰則)

チーム連絡会議、レフェリークリニック、表彰式、試合、オフィシャル当番校および当番レフェリーに遅刻、欠席、棄権した場合や連盟の規約違反をした場合は、罰金から無期限試合出場停止までの罰則を科す。

その試合のベンチ入りを認めない。この場合、ペナルティ（ベンチマイナー）は科せられない。

18) 試合中、ベンチ内での写真撮影は禁止とする。

4. ディビジョン枠の一部変更について

平成 24 年度から次のとおり一部変更した。

* 特別な理由がない限り、ディビジョン枠は変更しない。

●平成 24 年度以降（Div III～Vは変更なし）

ラキガ	Division	
1	Div. I	Group-A 8 チーム
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		Group-B 6 チーム
10		
11		
12		
13		
14		
15	Div. II	
16		
17		
18		
19		
20		
21	Div. III	
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29	Div. IV	
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37	Div. V	
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		